

にぎわい通信



【トピック】

- みなとオアシス五島福江 登録
- みなとオアシス別府港 登録
- 国際旅客船利用拡大に関する提言 発表
- クルーズニュース

福江港

「みなとオアシス五島福江」登録！

平成20年3月19日、九州みなとオアシスに、4つ目の登録となる「みなとオアシス五島福江」が誕生しました。

五島列島は、長崎の西方100kmの地点にあり、大小140余りの島々からなっています。そして、非常に美しい海と豊かな自然に恵まれており、四季を通して釣りやマリンスポーツなどを楽しむことができます。奈良・平安時代には遣唐使船最後の寄港地として、中世以降は海外貿易の拠点として栄え、島内には、カトリック教会や神社仏閣、そして旧五島班の城跡や武家屋敷など数多くの歴史遺産が残っています。中でも「常灯鼻」（江戸時代末期建造の防波堤と灯台）は大変すばらしい港湾遺産です。

五島市で開催される主なイベントは、「五島列島タヤケマラソン大会」、「福江みなと祭り」などがあり、特にタヤケマラソン大会は、日本で最後に沈む夕陽を背に、2千人ものランナーが島内を走り抜ける大きな大会となっています。



常崎天主堂



夏にはサファイアブルー色になる天然の砂浜



みなとオアシス委員会の風景



五島市福江町の海の玄関である福江港ターミナル

別府港

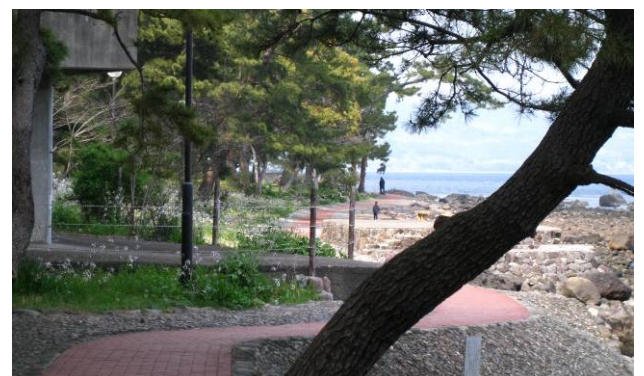
「みなとオアシス別府港」 登録！

平成20年4月1日、九州みなとオアシスに、5つ目の登録となる「みなとオアシス別府港」が誕生しました。

みなとオアシス別府港では、様々な団体が協議会を設立し、運営を行っています。

主な活動としては、旅客ターミナル2階のスペースを活用した、料理教室、フリーマーケット、絵画展等を開催し、また、「みなとパレット」という県下の活力ある若いNPOを育成するための施設があり、入居している団体による様々な活動が行われています。

また、海岸沿いには、温泉を利用した足湯や砂湯などもあり、大変広い範囲での活動となっております。



提言

「国際旅客船利用拡大に対応する取り組みへの提言」発表

平成19年12月に産学官が協働して立ち上げた「国際旅客船等利用拡大対策検討委員会」における検討の結果が「国際旅客船利用拡大に対応する取り組みへの提言」として平成20年4月23日に取りまとまりました。

今後は、本提言を委員により関係機関へ提出し、九州の地域振興を促進します。

国際旅客船等利用拡大対策検討委員会

区分	氏名	部署・役職
委員長	小島 治幸	九州共立大学工学部 教授
委員	千 相哲	九州産業大学 商学部 教授
委員	樋口 明彦	九州大学大学院 工学部 准教授
委員	伊豆 美沙子	有限会社シマンシップ 代表取締役 クルーズコーディネーター
委員	秀島 龍介	九州観光推進機構 海外誘致推進部長
委員	入谷 珠代	下関グランドホテル株式会社 代表取締役
委員	下関市 港湾局長	
委員	北九州市 港湾空港局 理事	
委員	福岡市 港湾局 理事	
委員	九州運輸局 海事振興部長	
委員	九州地方整備局 港湾空港部長	

- ・アジア経済の発展
- ・2005年 韓国人観光客のビザの免除
- ・2006年頃からのウオン高
- ・中国の団体旅行客向けのビザ発給地域拡大
- ・クルーズ船社のアジアへの注目度の高さ
- ・中国・韓国から1日程度という九州の地理的要因

- ①韓国人の入国者増加等による北部九州に発着する旅客船利用者数の増加
- ②上海・釜山・基隆・香港等を発着するアジアクルーズのクルーズ船の九州への寄港増加
- ③地域活性化の気運の高まり、ジジットジャパンキャンペーン、九州観光戦略

国際旅客船を活用した九州観光の振興

【国際旅客船等利用拡大に対応する取り組みへの提言】

<基本コンセプト>

賑わいのある快適な海外への玄関口を目指して

—海からの九州観光の振興—

<重点施策>

◆快適で安全な旅客船受け入れ施設等の整備、改善

- ・旅客ターミナルの改善等(旅客待合い、CIQ等スペースの拡大等)
- ・交通結節機能の強化(ターミナルと市街地のアクセス向上、駐車場の整備等)

◆CIQ手続きの利便性向上

- ・入国審査等の迅速化、沖での臨船検査の実施(官民一体となりCIQへ要請を行う)
- ・入出国手続きの利便性向上(ターミナル外での手続き実施等)

◆訪日外国人の受け入れ態勢の整備

- ・賑わいの創出(みなとオアシスの積極的活用、SOLAS規制の中でのパブリックアクセスの確保等)
- ・受け入れ態勢の整備(外国語表記による誘導、周辺住民向けイベント・啓蒙活動等)

◆九州の港湾の連携と九州独自の観光振興モデルの開発

- ・ビギナー向けからリピーター向けまで多様な個性的ツアープランの提案(自動車工場見学等)
- ・九州の寄港地が連携したポートセールスの実施(九州各地を結ぶクルーズプランの提案)

クルーズ

博多港に「ラブソディ・オブ・ザ・シーズ」初入港！

平成20年4月5日、博多港に「ラブソディ・オブ・ザ・シーズ」が初入港しました。博多港に入港した客船の中では過去最大となり、中国の富裕層約 2,000 人が天神などへ買い物や観光へ繰り出しました。

【ラブソディ・オブ・ザ・シーズ】

ロイヤル・カリビアン・インターナショナル

本社：マイアミ アメリカ 総トン数：78,491ト 吃水：7.6m 全長：279m

